

きのう、おにいちゃんと
おふろにはいつてるときにおもった。
あおいのここにきずがあるのどうしてときいた。
ままはごめんねといった。
おおくのひとにまもられて
げんきになったしるしといった。
あおいは、げんきです。

杉本すぎもと
蒼唯あおい
(小1 加賀市)

生まれて一ヶ月で、
心臓しんぞうに小さな穴あながあいていると知らしされた時は、
どうしようどドキドキしたよ。
大きな手術しゅじゅつに難なんなく耐たえて
元気げんきに育そだってくれてありがとう。
これからも、しるしも家族かぞくも
あなたの事ことを守まもっていくからね。

杉本
真由美まゆみ
(母)

仕事しごとからの帰りかえが遅いおそ時とき、
先さきに帰かえった厳仁つよひとがお米こめを炊たいて、
お風呂ふろまで沸わかしてくれた！

とてもうれしくて、
手順てじゆんをしつかり覚えていてびっくり!!

みんなからおいしいと言いわれて誇ほこらしげ。

ママの自慢じまんの息子むすこだよ。

山岸やまぎし
あき子こ
(母)

おこめたくのは、かんたんだよ。
だって、ママがしているのを
よくみているからだよ。
ぼくは、たまごやきもつくれるよ。
これは、ママよりも
じょうずかもしれないよ。
こんど、すべしやるな
たまごやきをごちそうするよ。

山岸
厳仁つよひと
(小1
羽咋市)

大きくゆれた日、
こわいからどこにも行かないでって泣いてたね。
なのにぎゅって抱っこして、
すぐ仕事に行ってごめんね。
あの日のことおこってる？
でも忘れないで、
ママは莉子のことすごくだいに思ってるよ。

佐竹 真由美(母)

おこってないよ。
だってママは、わたしのママだけど、
かんじゃさんにとってはスーパーマンなんだよね？
だから、
かっこいいママだっておもってるよ。
わたしも、
だいすきなママみたいになりたいな。

佐竹 莉子(小1 七尾市)

パパがたんしんふにんになって、

岐阜の天気予報やニュースを見るようになったよ。

岐阜という漢字は

テストでも一回もまちがえてないよ。

パパがいない平日はさびしいけど、

週末は楽しみです。

岐阜でも仕事がんばってね。

堀名 心待（小4 小松市）

パパは単身赴任になっても、

石川県の天気を見ているよ。

今日は雨や雪で集団登校大変じゃないかなって。

平日は一緒に遊べないけど、

週末は家族でたくさん遊ぼう。

次の週末はどこに行こうかな？

こまち、大好きだよ。

堀名 治喜（父）

成功した器械運動交歓会。

祖父が手作りしてくれた鉄棒で、

本番まで毎日自分から何回も練習していたね。

手にママが出来ても一生懸命頑張っていたね。

そのママは頑張った証。

そんな頑張り屋の芽依が

とてもステキです。

鶴来 未衣（母）

じいちゃんが作ってくれた鉄棒で、

毎日練習して逆上がりが出来るようになったよ。

いよいよ本番になった時

きんちようしたけれど、

がんばって演技をする事が出来たよ。

お父さんお母さん、

一緒に練習してくれてありがとう。

鶴来 芽依（小4 かほく市）

四年生になってバスケットを始めたね。

バスケットを選んだのは

お父さんとお母さんがしていたからだよ。

ふしぎだけど、

どんなにうるさい体育館でも

お母さんの声だけは私にとどいているよ。

これからも私を一番おうえんしてね。

北原 怜(小4) かほく市

不思議だね。

お母さんも四年生からバスケットをしていただけで、

広い体育館で沢山の応援があっても、

両親の声だけは、

嬉しい時も辛い時も、

一番聞こえていたのを思い出したよ。

これからも怜を一番応援するから任せてね。

北原 芽衣(母)

地しんの時、

消防団で活動かつどうしていて、あまり会あえなかつたね。

でも、お父さんのすがたが見えて、

わたしはとっても安心あんしんしたよ。

家族かぞくのだれ一人はなればなれに

なりたくないと思おもっているよ。

これからも、がんばってね。

西にし こはる（小4 珠洲市）

あの時、お父さんは、

にげおくられている人がいないかを

かくにんしながらひなん先むに向むかっていたんだよ。

夜中よなかにみんなに会あえて、

とても安心あんしんしました。

これからも家族みんなで、

仲良なかよくがんばっていこうね。

西にし 靖典やすのり（父）

パパが地震の影響で輪島に行ってから、
ママが家の事全部と自分の仕事と

ぼくたち三人のおせわをしてきているね。

毎日ばたばた大変そう。

だからママは、ちよっとイライラ。

でもね、ぼくも手伝うし

ママの笑顔が見たいよ。

西田 朝陽（小5 かほく市）

ドキリ！

パパが単身赴任になって

いっぱいいっぱいになってるかも。

「君たちを守らなきゃ！」って思ってるよ。

毎晩寝顔を見ながら

「怒ってばっかでごめん。」って一人反省会です。

頼りになる朝陽。ありがとう。笑顔でいるね。

西田 美紀（母）

おじいちゃん、わたしの大好きな中か屋さんを、再開さいかいしてくれて、ありがとう。

たくさんお客きやくさんも来てくれて、

大変たいへんだけどうれしいね。

私わたしのじまんのお店みせだよ。

夏休なつやすみは私も皿洗さらあらいやかた付けづを

手伝てつだうから待まっていてね。

室坂むろさか
彩菜あやな（小5 志賀町）

わたしは七十五歳ななじゅうごさい。

地震じしんでお店がこわれた時は、

もうお店は閉めしようと思おもった。

でも、彩菜が、

「待まちってくれてるお客さんが、たくさんいるよ。」

って、言いってくれたから、

もう一度いちどおいしい料理りょうりを作つくるよ。

がんばるからね。

徳野とくの
外茂男ともお（祖父）

最近、素直になれない。

お母さんに悪口を言ってしまう自分がキライだ。

お母さんは仕事でつかれているのに、

自分の悪口で心をきずつけちゃったよね。

素直になれなくて、

ごめんなさい。

でもお母さんのこと大好きだよ。

北川 獅恩（小6 野々市市）

お年頃故のその態度に

「ついにアレが始まった…」

と息子の成長を感じ嬉しく思う母の心は

全く傷ついていないので大丈夫。

ただ、正直毎回

「イラッ」や「カチン」も

嬉しさとセットの感情ですのでご了承下さい。

北川 妙子（母）

父へ

震災があつてぼくの家は
全かになり住めなくなった。

それでも、父は消防団の活動や会社の仕事、
家の片付けをがんばってくれてありがとう。
ぼくも家の片付けを手伝いたいよ。

いっしょにがんばろう。

川瀧 隼（小6） 志賀町

一瞬にして今までの生活が奪われ、
自然災害の恐ろしさを実感したね。
「ぼくらの未来の家」と隼が考えた

図面を見てハツとしたよ。

家族のために

頑張ろうと思わせてくれてありがとう。

みんなで乗り越えて再スタートだ！

川瀧 剛志（父）

お母さん、
僕はもう反抗期きたんかな。
だって、毎日暴言吐いてしまうし
話したくない時もある。
だけど、うれしい事とかがんばった事を
一番最初に聞いてほしいと思う人は、
やっぱりお母さんです。

山田 隼 (中2 羽咋市)

大丈夫。

毎日のババア攻撃はすっかり慣れました(笑)
それより手紙の最後、
これはもはや母へのラブレターではありませんか。
まだ少し幼い貴方だけど、
これからも、正直でまっすぐな気持ちで
届けられる人でいて下さい。

山田 梢 (母)

能登半島地震から半年ほど経ちました。
もしかしたら僕達は

死んでいたかもしれない。

けどおばあちゃんは生きてくれた。

おいしい朝ごはんも

朝の見送りもなかったかもしれない。

家族の為に生きてくれてありがとう。

川端 秀虎（中2 珠洲市）

震災後家族に支えられながら、

「大切なものはそばにある」と痛感しました。

今は登校時の元気なデカイ後ろ姿、

帰宅時の丸い笑顔が日常の幸せをくれます。

生きようとする力ある限り生きますよ。

秀虎も

命守って生きる力を大切に。

川端 玲子（祖母）

父さん、

いつも遠い道場まで送り迎えをありがとう。
心の中で感謝しています。

ところで最近、

二人の時に沈黙が多くあるので、あえて聞きます。

「どうして厳しい稽古や楽しい将棋を

僕としなくなったの？教えて父さん。」

木戸口 海翔（中3 金沢市）

確かに時々沈黙があるよね。

良い機会なので話すと

海翔が父の体格や技術を超えたと認めたから。

対局を避けるのは半年前、最後に対局した時に

「次は負ける」と確信したから。

もう少しの間だけ

父親の威厳を保たせてもらえるかな。

木戸口 智一（父）

毎日笑っていられるのは

お母さんとお父さんのおかげ。

今日も一緒にご飯が食べられる。

一緒に寝られる。お話ができる。

全部当たり前ではないこと。

亡くなった私の大好きな弟が教えてくれたね。

大切にしないとね。

中越 心虹（中3 羽咋市）

可愛い弟が天国へ行って月日が経ったね。

悲しみも皆で分けあったよね。

でも、楽しかった思い出があるから

大丈夫だよね。

毎日一緒にご飯を食べて、

お話しして、

一緒に眠れるのは幸せだなあと感じます。

中越 典子（母）